



千葉大学医学部ヨット部報

Vol.36 2023/7月吉日

はじめに

盛夏の候、先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私たち千葉大学医学部ヨット部は5月に新入生を6人迎え、現在は夏の東医体に向けて江の島での合宿期間に入っております。部員一丸となり、東医体優勝に向け日々練習に励んでおります。このように日々練習に打ち込めずとも、先生方の温かいご支援のおかげと部員一同感謝しております。

本報では、ヨット部OB会長の徳久先生、顧問の花岡先生のご挨拶、また全学ヨット部OB会長である斉藤前総監督のご挨拶、今年度入部した新入生の紹介、そして今年度の東医体レースメンバー挨拶をお届けいたします。

OB 会長挨拶

医学部ヨット部OB会長 徳久 剛史（昭和48年卒）

新型コロナ感染症も5類の感染症となり、日常の生活がコロナ前の状態に戻ってきている。この部報のOB会長挨拶も2019年を最期に掲載されていなかったが、今回から再開されることになった。私は、2020年に山浦 晶先生の後任としてOB会長に就任したので、この部報が初めての挨拶となる。そこで今回は、自己紹介も兼ねてOB会の設立に至る経緯を紹介する。

千葉大学ヨット部は、約70年前に医学部生を中心として亥鼻キャンパス（千葉港）からスタートしている。その後、全学のヨット部として西千葉キャンパス（稲毛海岸）に拠点を移して発展していった。私が入部した頃（1967年）は関東インカレ3部校であったが、4年後には2部校へ昇格している。すでに東医体でのヨット競技も始まっていたが、当時の私たちの競技レベルは他大学の選手達とはプロとアマほどの違いがあった。

当時は毎年数名の医学部生が入部していたが、約40年前から医学部の授業の過密化から長期合宿への参加が難しくなり、入部者はいなくなった。そのような状況の中で、ヨットをやりたい学生が山浦先生を部長に迎えて医学部ヨット部を設立した。創部5年目くらいから部員も増えて、東医体優勝という目標に向けて活動も活発になっていった。そこで現役の活動を応援しようと山浦先生が中心となって、全学ヨット部OB会の医学部出身者を集めて本OB会を設立した。OBの中には分派活動だと反対して入会しない先輩もいらした。当時、私は全学と医学部のヨット部長を兼務しており、学生達に不利にならないよう願いつつ、山浦先生のご苦勞を間近にみているだけだった。現在では本OB会も150

人を超える大所帯となり、会員の大多数は医学部ヨット部の卒業生となっている。

先日行われた新入生歓迎コンパも、3年ぶりに亥鼻同窓会館で行われ、新入生が6名と大勢だったばかりでなく、全学ヨット部のOB会長とともに新入生も4名が参加していた。私は、これからも医学部と全学のヨット部OBとして、「金は出すが、口は出さない」の鉄則を守って、学生達を見守り続けるつもりでいる。

顧問挨拶「夏の大会に向けてのエール」

医学部ヨット部顧問 花岡 英紀 (平成5年卒)

暑い毎日が続く頃かと思います。そして学生の皆さんにとっては大事な東医体の季節です。今年は江ノ島での開催とのこと、まずは優勝を目指してぜひ日頃の成果を披露して頑張ってください。

そこで重要なことは万全な準備をすることです。ここ数年、部活動はかなりその活動について制限を受けてきました。一方で医療に関わる者は等しくこのパンデミックに対応することを余儀なくしてきました。時には本来の医療を制限してまで新型コロナウイルスの治療を優先せざるを得ない状況にありました。これは社会全体も同様です。私たちはこの状況からおそらく多くの経験を得たと思います。もちろんそれに伴う代償も決して少なくはないのも確かです。現在、ここから脱しつつあるのですが、第7波、第8波と時間を経るとともに死亡者の絶対数が増えていることは理解しておく必要があります。この夏に起きる第9波への十分な備えについてはこれまでの経験でどうすべきか誰もが学んだと思います。医療現場はこれから逼迫状況になることが予想されます。部活動においても、大会で活躍し、成功するためにも万全な準備した上で望んでいただきたいと思います。

次に重要なのはチームワークです。スキッパーとクルーの連携はうまくいっていますか。レースメンバーは、おそらく長い時間をかけて一緒に練習を重ねてきたと思います。今の時代に背中をライフジャケットに靴の裏の跡をつけて帰ってくるなんてことはないかと思います。一方で他の大学と競争し優劣を競うことは変わりません。そのためにも信頼関係を作ってきたのだと思います。加えて、他の艇のレースメンバーや、大会を支える先輩、後輩を含めてヨット部全体のチームワークでここまで来たのでしょう。

もう一つ重要なのは安全です。事故は起こさない。起きたらどうリカバリーするのか。皆で真剣に考えてください。自身も、相手も、周りも、家族も誰もが傷つかないようにしないといけない、そのための準備です。

スタート時にヨットが一直線上に並ぶ光景はとても美しいと思います。学生時代、東医体に出場した時に目にした光景は今でもよく覚えています。沢山のセールがパリパリ鳴っている音も、海の光も風も水しぶきも、きっとみなさんにとってとても楽しい光景でしょう。レースメンバーはぜひここにいるのはヨット部全員の努力のお陰だと思い、全力で頑張ってください。きっと楽しいレースになると思います。そしていい報告を待っています。

全学OB会長挨拶「ありがとう」

全学ヨット部OB会長 斉藤 威

1年生の皆さん、入学おめでとう。そして、ヨット部入部おめでとう。

新入生の皆さんは、これから始まる、もう始まっている大学生生活は、今まで経験したことのない日々の毎日となるでしょう。高校生までと違って自分で選んだ勉強をすることになります。授業では目新しいことを教えていただくことになりすし、加えて自分で勉強していくことになります。このことで与えられた知識だけでなく、自らが求める多くの新しい知識が得られるようになります。

そして、ヨット部でも同じくです。高校生までの部活と違って、自分たちで縦社会、横社会を築き、みんなで部の運営にあたることになります。部活には教科書や参考書はありません。自分たちで経験したことをもとに教科書を作り、後輩たちに引き継いでいくことになります。

そこで各部員の役割ですが、上級生は組織の充実を図るのが役目です。楽しい部活で、その上に強い。そのようなチームを作ることが求められます。人としてもレーサーとしても下級生から尊敬される、あこがれの的となるよう先輩にならなければなりません。上級生の皆さん、そうなっていますか。なりつつありますか。

1年生始めの下級生は、船の手入れや練習のサポートなど、チームの下支えが役割です。そしてその合間に、ヨットのことを研究していくことです。ヨットがうまくなる、よく走るレーサーになるには、船のこと、海のこと、気象のこと、戦術のこと、体力・気力のことなど、多くのことを先輩から教わり、自分でもさらに工夫していく、研究していくことです。私はこのことを「ヨットを科学する」と言っています。このことは実に楽しいものです。

このようにして、みんなで一つの組織を高めていくことこそ、これが部活の目的であり、部活の意義です。このことで人間性や人格に富んだ人間となって行く、明日の社会を牽引していく人となって行くのだと思います。

その上で、ですが、部の目標である「目指す大会で勝つ」ことが出来れば、それは、最高の大学生活になります。みんなで頑張りましょう。

1年生の皆さん。以上のように、学業においても、部活においても今まで経験したことのないことばかりとなるでしょう。今までにない、めったにないことの毎日となります。つまり「ありがたい」というようになります。そうです。大学生生活とは「ありがとう」の世界なのです。

学生生活においてはご父兄が、勉学においては先生たちが、部活においては大学が、OBが支援していただきます。このような充実した生活を支援、応援して下さる方々に感謝しましょう。心から「ありがとう」を言いましょう。

そして、卒業するときに、頑張った自分にも「ありがとう」が言えるように、ヨット部を続けましょう。



▲今年度千葉大学全学医学部ヨット部合同での新歓コンパの様子
今年も多くの新入生を迎えることができました。

新入部員の言葉

2023年度新歓コンパにて、医学部ヨット部では、6名（男子3名、女子3名）の新入生が入部いたしました。まだまだヨットのことが分からないながらも積極的に練習に参加しており、これからの成長に大いに期待しております。それでは新入部員たちの挨拶です。

折田 彩乃（東洋英和）

歴史あるヨット部の一員になりたいと思い、入部を決意しました。至らない点も多々あるかと存じますが、精進して参ります。よろしく願いいたします。

木村 優希（桜蔭）

ヨット部の先輩方の素敵な雰囲気惹かれ、6年間この部活で過ごしたいと思い入部しました。日々成長していけるように練習に励みます。これから宜しくお願いします。

瀧川 真希（豊島岡）

今はヨットについてわからないことも多いですが、日々成長できるように毎回の練習を大切にしていきたいです。憧れの先輩方に近づけるように頑張りたいと思います。これからよろしくお願いいたします。

仲澤 拓真（清真学園）

ヨット部の新歓の雰囲気に着かれて入部を決断しました。一刻も早く部活に貢献できるように努力します。よろしくお願いします。

西 玲磨（暁星）

優勝を目指している先輩方の熱量と、雰囲気に惹かれ入部しました。これからたくさんの事を吸収し、ヨット部に貢献できるように頑張ります。よろしくお願いします

渡辺 健太郎（開成）

ヨットについて知らないことだらけですが、憧れの先輩方に近づけるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



▲2023年度新入生（左から折田・木村・瀧川・渡辺・西・仲澤）

2023年度 東医体レースメンバー紹介

今年も、医学部ヨット部の最大の大会である東日本医科学生総合体育大会（東医体）が近づいてまいりました。本戦は8月4日～6日に、江の島ヨットハーバーにて行われる予定です。今年度よりコロナ前同様、観覧艇を手配する予定ですので是非レースの応援にお越しくください。今年度の東医体レースメンバーは5年生7名、3年生4名で構成され、ヨット6艇で出場します。応援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

JPN4757 田中・鈴木ペア

5年間の集大成として優勝へ向けて全力を尽くします。応援よろしくお願いします。（田中）

レースメンバーの一員として、歴代の先輩方に恥じないプレーをできるよう、精一杯頑張ります。（鈴木）



▲田中・鈴木ペア

JPN4581 竹内・五町ペア

日頃より多大なるご支援を頂いているOBの先生方に少しでも恩返しができるよう、今まで皆で努力してきたものを発揮し、精一杯頑張ります！（竹内）

去年出来なかった優勝を南帆さんと共に掴み取ってきます！応援よろしくお祈いします。（五町）



▲竹内・五町ペア

JPN4486 原田・小山田ペア

多くの方々の協力で去年に引き続き今年も東医体が開催されることに感謝しております。去年の悔しさを胸に、リベンジを果たすため優勝を目指して全力で頑張ります。ご声援のほどよろしくお祈いします。（原田）

OBの先生方をはじめこれまで支えてくださった多くの方々への感謝を胸に、最後の瞬間までスキッパーを支え、全てを出し切りたいと思います。（小山田）



▲原田・小山田ペア

JPN4465 大山・松原ペア

2年前、クルーとしての東医体出場は叶いませんでしたが、同期7人欠けることなく東医体を迎えられて誇りに思います。日頃サポートして下さるOBの先生方へ恩返しができるよう、そして昨年の無念を晴らすべく全力を尽くしますのでご声援のほどよろしくお祈いします。（大山）

最後まで精一杯頑張ります。応援宜しくお祈いします。（松原）



▲大山・松原ペア

JPN4413 北村・五町ペア

最後まで楽しむ気持ちを忘れずに、クルーと一緒にヨットを走らせたいと思います。ご声援のほどよろしくお祈いいたします。（北村）

美織さんと一緒に前走って、優勝してきます！応援よろしくお祈いします。（五町）



▲北村・五町ペア

JPN4305 中西・神保ペア

OBの先生方をはじめ、これまでヨット部の活動を支えてくださった皆様へ優勝という形で恩返しができるよう、全力で頑張ります。ご声援のほど、よろしくお願いいたします。(中西)

これまでの練習の成果を発揮して優勝できるように頑張ります。(神保)



▲中西・神保ペア



▲2023 年度レースメンバー

(左より神保・中西・鈴木・田中・松原・大山・小山田・原田・竹内・五町・北村)

今年度東医体・医科歯科大会日程

東医体 (江の島ヨットハーバー)

8月2日 プレレース

8月3日 女子レース

8月4日～6日 本戦

関東医科歯科学生ヨットレース (江の島ヨットハーバー)

8月8日 プレレース

8月9日、10日 本戦

2023年度 現役部員名簿

顧問 花岡教授

6年	阿部 哲 猪野 凌太 宮川 宏佳 元田 航世	4年	赤尾 真歩 岩岡 優太 主将 植松 嵩太郎 主務 坂本 真理 三浦 健登	2年	伊藤 誠敏 今田 優希 小張 悠 日昔 百菜 水野 杏美
5年	大山 諒 小山田 理恵 北村 美織 竹内 南帆 田中 颯人 中西 杏璃 原田 晃希	3年	五町 総一朗 佐野 優衣 神保 気凜 鈴木 喬晶 松原 未来	1年	折田 彩乃 木村 優希 瀧川 真希 仲澤 拓真 西 玲磨 渡辺 健太郎

Facebook

昨年度に引き続き私たちの活動状況や年に引き続きまして、私たちの活動状況や各種行事のお知らせなどについて、Facebookに掲載しております。

アカウント名 ”千葉大学医学部ヨット部”

アドレス www.facebook.com/chibamedyacht

Facebook のアカウントをお持ちでない場合も、Webで上記 URLを検索していただければページをご覧ください。たくさんの「いいね！」をお待ちしております。お時間のある際には、是非ご覧ください。



あとがき

千葉大学医学部ヨット部夏部報も、おかげさまで第36版を迎えることができました。今回の発行にあたり、ご寄稿いただきました先生方には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

現在、私たち千葉大学医学部ヨット部はヨット全10艇を江の島に運び、東医体優勝に向けて毎週末練習に励んでおります。こうして整った環境で活動を行うことができますのも、ひとえに先生方のご支援ご声援のおかげでありますこと、部員一同、大変感謝しております。また、新型コロナウイルスの制限緩和により昨年度は叶わなかったOBの先生方の観戦が今年度は可能になる予定です。コロナ禍前同様観覧艇を手配する予定ですので是非観戦にお越しくください。昨年度の雪辱を晴らすべく全力を尽くしてまいりますので、ご支援ご声援のほどどうぞよろしくお願いいたします。

4年主務 坂本真理